

西建協だより

342号

2023年1月



西建協 HP QR コード



新年ご挨拶

西多摩建設業協会 理事長 榎森厚志

新年を迎え謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は三年目にも関わらず新型コロナウイルスが終息すること無く、オミクロン株へ変異し第八波による感染拡大が懸念されており、世界的に経済活動が再開され日本もようやくウイズコロナの時代を迎える事と思われれます。西建協としてもコロナ禍によるコミュニケーション不足を補う為に今年から協会行事を順次再開し、対面による協会活動を予定しております。当然のことながら感染拡大防止対策は必要不可欠ではありますが、西多摩地域のインフラ整備を含む経済活動を活性化させ、地場企業も生残らなければなりません。

建設業界としては働き方改革のリミットが十四年に迫り、地場企業の窮状と建設業特有の働き方の問題点を行政の皆様にも理解して頂き、本当の意味で働き方改革が進むよう全力で取り組まなければならず『西建協のポテンシャルを最大に出し尽くさなければ乗り越えられない』と危惧しております。協会員の皆様には強い決意のもと協会活動に取り組み頂き、今までもにも増してご尽力を賜りたくお願い申し上げます。

一般社団法人としても今まで以上に地域や行政と密接な連携強化を図り、公益事業等も拡充して行かなければなりません。働き方改革と並び近々の課題として、地区ごとの災害協定に關しては各市町村単位に留まらず、西多摩八市町村全体でより迅速かつ確実な緊急対応ならび、発災時には市町村間の垣根を払い、柔軟な応援支援体制を可能とする災害協定等を新たに構築する必要があるのではないかと熟慮しております。

また、西多摩建設業協会は西多摩地域の安全安心の街づくりが必要不可欠な要と言われる

よう唯一無二の団体を目指します。百年を超える西多摩建設業協同組合を母体とする西建協が一般社団法人として船出した責務を改めて自覚し、持続可能な循環型の社会貢献へも全力で邁進していく所存でございます。

末筆ではございますが各関係機関皆様のご健康とご多幸を衷心よりご祈念申し上げ新春のご挨拶とさせていただきます。

西建協 若手経営者の会 視察・研修報告

西建協 若手経営者の会 監事 小池 啓太

令和四年十一月二十一日、(一社)西建協【若手経営者の会】主催による。視察・研修会が開催され、西多摩地区の建設業を担う若手経営者9社9名により、新型コロナウイルス感染症防止対策を施行されました。訪問先は『首都圏外郭放水路』埼玉県春日部市。この『首都圏外郭放水路』は、埼玉県春日部市上金崎先から小淵地先、倉松川・大落古利根川など中小河川の洪水を地下に取込むため、地底50mを貫く総延長約6.3kmにもおよぶトンネルを通じて江戸川への通水を可能とし中川・綾瀬川流域における水害(洪水)対策の為、建設されました。最大のもので内径31.6m・深さ71m等の立坑5基、長さ177m・高さ18m・幅78m調圧水槽から構成されており、日本が世界に誇る土木技術が終結した構造物を前に終始、圧倒されるものとなりました。『首都圏外郭放水路』に水を取込むのは年平均7回程度で、本年は既に5回稼働している。近年での最大排水量は平成二十七年九月台風17・18号、約1,900万m³と記録され、中川・綾瀬川流域の水害は大幅な軽減を成しています。我々の住む西多摩地区においては河川の氾濫や土砂流出、落石や雪害等と様々な災害のおこる地区であります。微力ながら防災・減災及びインフラの維持・管理に携わるものとして日本の土木技術高さを誉れと思うと共に、我々の行っている事業が機能していることを再認識出来た大変有意義な視察・研修会であったと感じています。



研修参加者



放水路内部

謹賀新年 本年もよろしくお願い申し上げます。

印刷全般・事務機取扱 株式会社アサヒ

代表取締役 小林 貴純
羽村市羽中二六六一五
電話 〇四二・五五五・四〇四五
FAX 〇四二・五五四・八四五七

東日本建設業保証株式会社新宿支店

支店長 照井 千富
新宿区西新宿一・二五・一 新宿センタービル三四階
電話 〇三・三三四〇・二四五一
FAX 〇二二〇・〇二七・一五八

落石・急傾斜地崩壊・法面保護対策 株式会社 明商 奥多摩営業所

奥多摩町境一二五・五
電話 〇四二八・七四・九三五四
FAX 〇四二八・七四・九三五五

丸順商事 有 限 会 社

代表取締役 矢部 要
羽村市富士見平一・一四
電話 〇四二・五五四・二二二九
FAX 〇四二・五五四・七八八九

株式会社 交 運 社

代表取締役 田村 勝彦
福生市福生六五四
電話 〇四二・五五一・〇五四一
FAX 〇四二・五五三・六五〇一

建設仮設資材 レンタル・販売 日本リース工業 株式会社

代表取締役 高野 明弘
瑞穂町長岡下師岡三九二
電話 〇四二・五五六・五一一一
FAX 〇四二・五五六・五一一四

ムサシ建設工業 株式会社

多摩営業所
青梅市野上町二丁目一〇・一
西武レジデンス二〇一
電話 〇四二八・八四・〇七九三
FAX 〇四二八・八四・〇七九四

有限会社 丸 善 産 業

代表取締役 小林勇二
瑞穂町箱根ヶ崎西松原五七・一
電話 〇四二・五五四・五九二九
FAX 〇四二・五五七・六一八一

山留・基礎工事 株式会社 タク ト

一六七・〇〇五 杉並区荻窪四・二六一〇
電話 〇三・三三二〇・八四〇〇
FAX 〇三・三三二〇・八五一二

住宅設備機器総合商社 サンコー 株式会社

代表取締役 向山 英雄
西多摩支店 羽村市羽加美一・七・一
TEL 〇四二・五五四・五五二六
秋川支店 あきる野市瀬戸岡四二五八
TEL 〇四二・五五九・五五二六 FAX 〇四二・五五九・五五〇九

株式会社 高野保険事務所

代表取締役 高野 真人
青梅市新町四・一九・七
電話 〇四二八・三一・一四三九
FAX 〇四二八・三一・五一一三

あなたの『愛』応援します 日建学院 立川校

立川市錦町一・一・二二三
東京都酒造会館ビル三階
電話 〇四二・五二七・三二九一
FAX 〇四二・五二七・五八九一

協会員優良工事施工体験記

施工業者：佐久間建設 株式会社
 工事件名：台風19号被害対策工事（緊急施工）31西・奥多摩の3
 工事場所：東京都西多摩郡奥多摩町日原地内
 現場代理人：宮野篤

この度弊社が施工いたしました東京都西多摩建設事務所発注の災害復旧工事に於きまして、「令和二年度東京都建設局優良工事」という大変に荣誉のある賞をいただき、誠にありがとうございます。

本件工事は令和元年10月に上陸した台風19号の豪雨により崩落した日原街道（L=約40m）を復旧する工事となります。令和元年当時、弊社は道路橋梁維持工事（単価契約）を受注させていただいており、台風19号が上陸した当日の夜には都道巡回にあたっていました。日原街道をパトロール中、道路そのものが崩落によって無くなっている状況を発見し、すぐさま通報・通行止め等の措置を実施いたしました。発見時は夜遅い時間でしたので、ヘッドライトの僅かな明かりでしか確認ができませんでしたが、翌朝に現場を確認したら自然の脅威を目の当たりにする光景が広がっておりました。住民の皆様が生活している日原地区へのアクセスは日原街道が唯一のものであるため、早急な復旧が望まれました。そのため、まずは人が徒歩で渡れるよう仮設足場を設置し、地域住民の皆様や職場への通勤の方の往来を実施できるようにいたしました。また、徒歩で対岸まで渡っても対岸の乗用車がないために、弊社から地域住民専用として買い物等に使用していただく乗用車を提供させていただきました。本復旧工事では、杭工事をインプラント工法という特殊工法が採用されました。同工法はL=17mφ800mmの既成鋼管杭を1000mmピッチで28本貫入する工法でしたが、災害箇所の高低差が10m以上あったため、測量に苦労しました。また、崩落によって川下側からでしか施工できないという厳しい施工条件でありましたが、ドローン等を用いて現場確認のための写真撮影を行なう等、現場の施工条件を考慮した工夫によって、大きな事故もなく無事に終わることができました。

最後になりますが、地域住民の皆様並びに発注者様、協力業者様に深く感謝するとともに、今後もより一層の技術力向上と無事故無災害での竣工に努めてまいります。

（施工現場写真：下写真①参照）

施工業者：有限会社 北将建設
 工事件名：路面補修工事(2北北の20)
 工事場所：東京都昭島市田中町二丁目地内 外1箇所
 監理技術者：豊田康一

この度は東京都建設局長より大変名誉ある賞を頂きましたことを大変光栄に思っております。この場をお借りして、協力業者並びに関係各位に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

本工事は、東京都昭島市田中町二丁目地内(第一工区)と東京都昭島市美堀町四丁目地内(第二工区)の二工区に分かれた路面補修工事でありました。

第一工区は日々交通量の多い交差点国道16号線(堂方上交差点)を抱え、計画段階で社内施工検討会議を行い交通量が少なくなった時間帯で施工できる用に区割りを決め作業を開始するなど渋滞を起こさない工夫を行い、安全かつ円滑に工事を実施することで無事故にて施工することが出来ました。

第二工区は施工箇所に地元大手スーパーマーケット配送センターの入口有りがつ、舗装厚25cmの打換工事であったため、事前に配送センター、発注者、我々施工業者の3社で打ち合わせを行った。配送センターからの日程、施工時間などの要望をしっかりと組んだうえ、再度、設計者とも協議し打換え工法から切削オーバーレイに設計変更をして施工することで時間の短縮を行い結果、配送センターの業務に支障なく且つ、車両交通にも支障が無いよう無事に施工を終えることができました。

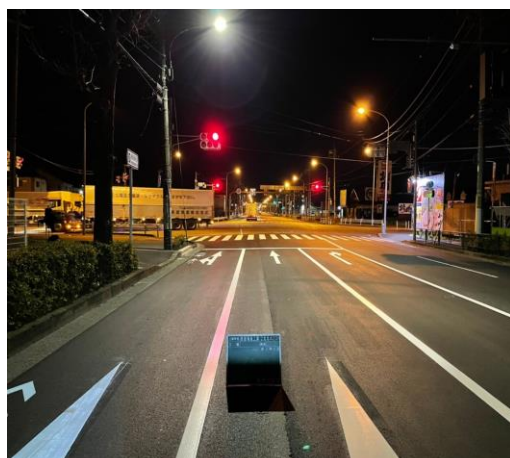
工事終わり間近になると、近隣住民の方々から「とても綺麗になったよ、ありがとう」等の感謝のお言葉を多数頂き、大きなやりがいを感じる事が出来ました。これも日々、監督員との信頼関係を築き上げると同時に、監督員を含む現場従事者全員による「一致団結したチーム」を築き上げ、その体制で地域に解け込み、密着したインフラ整備工事を達成できたと感じます。

最後になりますが、発注者である東京都北多摩北部建設事務所様を始め、地域住民の方々、協力業者様等関係者各位に深く感謝し、今回の工事で学んだ事を活かし、より一層の技術力向上と無事故無災害を目指し地域貢献に努めて参ります。

（施工現場写真：左下写真②参照）



写真①：佐久間建設株式会社 施工現場



写真②：北将建設 有限会社 施工現場

謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申しあげます。

住宅環境機器の総合商社
西関東機械株式会社
 代表取締役 藤島 廣明

本社 八王子市下恩方町八三五番四
 TEL042-659-2401 FAX042-659-2403
 西多摩営業所 福生市加美平三二一四一八
 TEL042-537-7651 FAX042-537-7655

有限会社 **麻生マーク**

代表取締役 前田 利昭
 東京都福生市熊川五二三
 電話 042-552-9541
 FAX 042-553-1785

アーバン建材工業株式会社
 代表取締役 森山 淳

青梅市河辺町一〇四、一
 電話 0428-20-1320
 FAX 0428-20-1321

成友セキユリテイ株式会社

代表取締役 新井 和史
 福生市福生六九九、三
 電話 042-551-1000
 FAX 042-551-0909

エコセメント二次製品製造販売
福生コンクリート工業株式会社
 代表取締役社長 山崎 順一

福生市福生三二五六
 電話 042-551-1521
 FAX 042-551-1543

南関東日野自動車株式会社
瑞穂支店

瑞穂町大字殿ヶ谷四四六、一
 電話 042-557-6071
 FAX 042-557-2151

砕石・アスファルト合材製造販売
株式会社 昭和石材工業所
 墓石・記念碑・石碑 設計、施工

昭石加工株式会社
 電話 0428-31-9400
 FAX 0428-31-5324

事務機・OA機器・介護福祉機器他
株式会社 カシワ

青梅市新町四、一九、九
 電話 0428-32-0678
 FAX 0428-32-0676